

現状と課題

1 これまでの取り組み

第4次高砂市総合計画において、将来像を「郷土に学び 未来を拓く 生活文化都市 高砂」と設定し、この総合計画のスタートに合わせ、平成23年3月、高砂市文化振興条例が制定されました。

また、条例に基づき、平成25年3月には、高砂市文化振興基本方針を制定し、「文化を愛するひとづくり」「文化を育てる舞台づくり」「文化を創造する魅力づくり」の3つの基本目標を定め、各事業を展開しているところです。

まず、「文化を愛するひとづくり」においては、文化の継承や向上、発展のためには人材の育成、充実が必要であり、高砂文化教室「高砂学」等、専門的な知識、技能を持つ人材を活用し、次世代へ継承する機会を設けてきました。

また、高砂市文化振興基本方針において、謡曲「高砂」を、高砂市を特徴づける重要な文化素材として位置づけていることから、さまざまな場面で謡曲「高砂」に触れる機会を提供し、日本の伝統文化に触れることにより、能や狂言に関心をもち、ふるさと高砂に親しみを持つきっかけづくりに取り組んでいます。

「文化を育てる舞台づくり」においては、市民が積極的に活動できる場、多様な文化を育てる場が必要であり、新たな場づくりへの取り組みや文化に関する情報の収集や発信、提供に努め、文化を大切にする環境を整備してまいりました。

「文化を創造する魅力づくり」においては、伝統文化から現代文化まで多くの人々の興味、関心をひきつけ、“高砂の魅力”を発信することが必要であり、そのため、国内外との文化交流やさまざまな分野との交流を通して地域の活性化につながる取り組みを推進しています。

これらの目標を達成するため、市の各部署はもちろん、指定管理者、各種文化団体と協力、連携し、文化都市高砂としてふさわしい「文化を大切にし、ふるさとを愛する人が集うまち高砂」の実現を目指しているところです。

2 高砂市「文化施策に関する市民アンケート」調査の概要

1 アンケート調査の概要

配布数 20歳以上の市民から無作為 1,000件
有効回答数 477件（有効回答率47.7%）

2 回答者の属性

(1) 男性 46.2% 女性 53.8%

- ・年齢階級比率では高齢の方が高い回答であるが、20代から29代も15%いた
ただき、ある程度若年者からも一定の回答を得られた。

(2) 高砂市への愛着と文化活動

- ・高砂市への愛着度は、半分近くが、大好き、またはどちらかといえば好きで、
高砂市への愛着は高い。
- ・文化芸術団体への加盟状況は、4.2%で、文化にかかわっている方よりも一
般市民の方の回答が多い。
- ・日常生活の中で優れた文化や芸術を鑑賞することについて、過半数は文化芸術
鑑賞の重要性を肯定的に回答している。

3 文化活動への意識や文化施設の利用状況

(1) 文化活動への意識

- ・重要、どちらかといえば重要という方が半数を占めている。
- ・男女別で見ると、若干男性の方が否定的で女性のほうが文化に親しんでいる
傾向がある。
- ・比較的若い方は、文化や芸術を鑑賞することについては、重要だと考えてい
る方が多い。

(2) 文化活動の鑑賞

- ・1年間に出向いて鑑賞した文化芸術では、映画が32.5%を占めている。
次いで音楽が30.8%、さらに歴史的建造物・埋蔵文化が29.7%であ
る。
- ・全国調査との比較では、高砂市では映画の占める比率がやや低く、音楽、歴
史的建造物・埋蔵文化の占める比率がやや高い。
- ・鑑賞した場所は、市外で鑑賞されるとの回答が多い。

(3) 自ら行う文化活動

- ・自ら文化活動を行ったり支援する活動については、重要との回答が16.0%、どちらかといえば重要が25.5%で、肯定する回答が41.6%と半数を占める。
- ・自ら文化活動に関わった経験について、特に行ったことはない、との回答が76.9%を占めている。全国的な結果とほぼ等しい。
- ・特に行ったことがない理由は、時間的余裕がない、が最も多い。

(4) 文化芸術の施設・設備の満足度

- ・施設・設備の満足度は、満足・やや満足で10%、それに対して不満・やや不満が18%で、不満の方が多い。
- ・不満の理由は、音響等、設備・備品が十分ではない、施設内の雰囲気がよくない、駐車場が少ない等ハード面を理由とする不満が高い。
- ・接客対応がよくない、貸出時間が適切でない、清掃が行き届いていない、などソフト面、あるいは施設管理面の理由は少ない。

4 「高砂市文化振興条例」の施行及び「高砂市文化振興基本方針」の策定と文化への意識変化

(1) 『高砂市文化振興条例』及び「高砂市文化振興基本方針」について

- ・高砂市文化振興基本条例について、まったく知らないが75.9%を占める。
- ・条例制定後、文化芸術活動に触れる機会が増えたかには、64.5%がそうは思わないとの回答である。増えた、との回答では催しものやイベントの機会を挙げることが多かった。
- ・「高砂市文化振興基本方針」で重要とする項目では、文化による産業振興や地域の活性化、が29.1%、文化を担う人材の育成、活用が27.8%、文化交流の促進が21.0%である。文化芸術の鑑賞を重視する方は、文化を担う人材の育成、活用も大事と考え、あまり関心がない方は産業振興や地域の活性化が大事と考えている。

(2) 高砂市の文化振興事業の認知度と参加状況

- ・実施される文化振興事業の認知度で、挙げられた全ての事業を知らない、が42.2%である。知られる事業は、文化まつりが26.5%、ウォーキングが24.2%、まち歩きが21.0%である。参加したことのない理由に、事業開催の情報が入らない、が36.2%を占め、ライフステージに合わせた情報発信が必要である。

(3) 高砂市の文化活動の活発化のために

- ・文化活動の活発化に必要な内容では、文化芸術活動に関する情報発信、が49.3%、文化芸術関係のイベントの開催や参加、が43.4%である。情報の発信とイベント開催や参加による盛り上げが重視され、文化活動を享受したい、との思いも見られる。

(4) 高砂市で自慢できること。

- ・高砂市の人物や事物で自慢できることは、秋祭りが最も多く、各地で開催される秋祭りが地域で誇りとされている。次いで石の宝殿で、最近のイベントや建物もあげられています。

3 高砂市の文化振興に関する問題点

1. 文化芸術の鑑賞についての問題点

1年間で直接鑑賞した文化芸術がない と答えた人が31%

◎ 文化芸術の鑑賞が出来ない理由

- ・ 時間的余裕がなく鑑賞 40.7%
- ・ 入館料や入場料が高い 9.0%
- ・ 鑑賞をしたい公演や展覧会がない 22.8%
- ・ 会場が遠い、交通の便が悪い 12.6%
- ・ 家族の都合がつかない 9.6%
- ・ 病気がち、身体が不自由 13.2%
- ・ 十分な情報がない 18.0%
- ・ 文化芸術に興味がない 17.4%

2. 鑑賞する場所についての問題点

映画、メディア芸術を専門とする映画館や劇場が市内に十分に立地していない

3. 文化芸術に関わる活動についての問題点

文化芸術に関わる活動を1年間に行ったことがない人が76%

◎ 自分で創作や参加、文化芸術体験を支援するなど活動をしたことがないと答えた理由

- ・ 時間的余裕がない 37.5%
- ・ 鑑賞するのは良いが自分で行う理由がない 33.4%
- ・ 十分な情報がない 23.6%
- ・ 活動する意志があってもその環境が整っていない
 - 参加したい活動が身近にない 18.4%
 - 一緒に活動する仲間がいない 15.3%
 - 家族の都合がつかない 7.1%
- ・ 活動する意志があり、時間があってもその機会に恵まれず、後々文化芸術活動に向けてるだけの時間がなくなり、時間があるようになってからは、自ら行うだけの気力や体力が十分でない

4. 文化施設・設備の問題点

音響等、設備・備品が十分でない

施設内の雰囲気良くない(薄暗い、古い)

駐車場が少ない

5. 高砂市の文化事業についての問題点

若年者の文化事業の知名度が低い

すべてに参加したことがない人が多い

◎ 全てに参加したことがない理由

- ・ 時間的余裕がない
- ・ 事業開催の情報が入らない
- ・ 魅力ある事業が少ない

文化芸術の活発化に必要なこと

- ・ 情報発信